

# 黒崎地区 社会福祉協議会

発行者 黒崎地区社協  
 責任者 花田修  
 編集者 安達マキ代  
 事務局  
 黒崎市民センター  
 ☎641-4106



黒崎地区社会福祉協議会  
 会長 花田 修

「ありがとう」に込められたメッセージ  
 「ありがとう」という言葉は、元々「あり難し」が語源になっています。この「あり難し」は仏教に由来します。

お経の中に、「人の世を受くるは難く、いま命あるはあり難し」というお言葉があります。私達が人間に生まれるということは大変難しいことだ。そして、今生きているということは、大変あり難いことだという意味です。

人間に生まれることがいかに難しいことを、お釈迦様は次のような譬えで教えてくださいました。これは**盲亀浮木の譬え**と言われる有名なお話です。

お釈迦様があるとき、弟子の阿難に「お前は、人間に生まれたことをどのくらい有り難いことと思っているのか」と尋ねられました。

返答に困っている阿難に、お釈迦様は、一つのたとえを説かれました。「果てしなく広がる海の底に、目の見えない亀がいる。この盲亀は、100年に一度海の上に顔を出すのだ。海の上には、一本の丸太が浮いている。丸太は風のまにまに、波のまにまに、西へ東へと漂っているのだ。その丸太の真ん中には、ちょうど亀の頭ほどの穴が開いている。阿難よ、100年に一度、浮かび上がるこの亀が、浮かびあがった拍子に、

ひよいとこの丸太の穴に、頭を入れることがあると思うか？」聞かれた阿難は、驚いて「お釈迦様、そんなことはとても考えられません」と答えました。「絶対にないと言ひ切れるか」とお釈迦様に聞かれると、阿難は「何億年・何兆年の間には、ひよつとしてあるかもしれないが、ないといつてもよいくらい難しいことです」と答えました。

するとお釈迦様は、よいか、阿難よ、私たちが人間に生まれるということは、この亀が、丸太の穴に頭を入れることがあるよりも、難しいことなんだ、有り難いことなのだよ」とおっしゃったと言われます。「有ることが難しい」と書いて有り難いといひます。私たちがこの世に生まれ、生きていくことは大変難しく、有り難いこと なのです。

両親が出会わなければ、どこかですれ違っていたら、今の自分たちはここにいなかったでしょう。そう考えると、この世に生まれ、今生きていることは大変ありがたきことなのです。

「ありがとう」という言葉は、ここから由来しているといわれます。この「ありがとう」という言葉は、単に何かをしてくれたことへの感謝だけではなく、皆様がここにいることそのものを喜び、言祝ぐ言葉です。傍にいる人にこの言葉をかけましょう。そうすることで皆様自身が幸せに満たされていくことでしょう。

## 北九州市社会福祉協議会会長表彰 について

ふれあいネット  
 ワーク活動25周年  
 特別感謝状として  
 「黒崎地区社会福祉協議会」が、  
 表彰を受けました。



又、長年社会福祉事業に携わり貢献された左記の方々が、去る10月22日(火)ウエルとばたに於いて表彰されました。

### 社会福祉奉仕者(個人の部) 敬称略

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 上木 晶子 | 萩尾 雅也 | 信国 清尊 |
| 井手 朱実 | 松嶋 幹恵 | 野村 明未 |
| 高戸 待子 | 観興寺英子 | 池田 鈴子 |
| 中川 由香 | 五味 輝子 | 篠崎ミチ子 |
| 石丸 美幸 | 兼田美知子 |       |

### 感謝(奉仕者) 敬称略

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 一松奈良子 | 波瀬ハツミ | 大津 悦子 |
| 安西 早月 | 近藤 絹代 | 蟹江 薫子 |
| 森山 澄江 | 木原多恵子 | 有田 文代 |
| 河野 正子 | 山下 知子 | 谷口千代子 |
| 佐藤 高子 | 福島 信子 | 小田原房代 |
| 元村ノリ子 | 藤吉 和代 | 吉田美佐夫 |
| 徳永 京子 | 東島 啓子 |       |

これからも健康に気を付けてご協力の程よろしくお願いいたします。

## 福祉協力員の活動報告

紅梅2丁目 兼田 美知子

私が福祉協力員になって十数年余になります。そんなに月日が経ったとは思えません。それは、私達のチームがとてまとまって楽しいからでしょう。今、紅梅公民館で月曜日から金曜日の7時30分から、一人暮らしの方と一緒にラジオ体操をしています。月に一回の班会議も皆さんの意見が活発です。今月お会いできなかった方が、友達から「買い物に行っていたそうですよ」と聞くと安心します。又、元気のいい声を聞くと心配になります。

でも毎月「ありがとう」がとうございます」と言われるととても嬉しです。

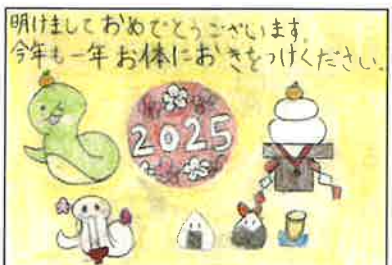


紅梅2丁目 柿本 栄子

「福祉協力員ってどんな仕事をするの?」何もわからないままお引き受けして二年。毎月一回、家庭訪問をして元気なお顔を拝見し近況情報を交換しています。皆さんの変わらぬ元気な笑顔が私たちの源となっています。

「一人にしない!孤独死などさせない!」この言葉をテーマに地域の皆さんと行政の力を借りし、安心・安全な生活が続きますよう頑張ります。

子どもたちから年長者への年賀状  
今年も黒崎中央小学校の生徒  
たちのご協  
力を得て、  
年賀状の挿  
絵を画いて  
もらいまし  
た。その中  
の一部と年  
長者からの  
お返事を紹  
介いたしま  
す。



年長者から  
子供たちへの返事

楽しい「ワンコインパーティー」  
黒崎2丁目 仙波三千子

12月6日、黒崎社協恒例の年末行事「ワンコインパーティー」が開催され、ピンシャンの会の一員として参加させていただきました。  
コロナ禍前は、夕方から夜に開催されていた行事が、今年は、年長者が多くなってきたことへの配慮だと思えますが、早めの時間から開催され、明るい時間帯で参加するのに楽になりました。  
地域・役所・社協の皆様との交流や、毎年出演される「ピアノとチェロの演奏」、「沖縄の三線」など心豊かに時の過行くのを忘れるようなひと時でした。  
又、社協の皆様には、心温まる食事や飲み物の用意をしていただきありがとうございます。終わりの福引きでは今年最後の運試しに一喜一憂し、皆様楽しみの中に家路につかれたことと存じます。  
社協の皆様には最後までお世話になりお疲れ様でした。どうぞ新しい年もお元気で活躍されますようお祈りいたします。



街のミニ情報

「公園マルシェ」初開催  
紅梅2丁目 河野ハツ子

11月26日(土)長浦公園でマルシェが開催されました。個人・団体で20店舗。キッチンカーやポン菓子、市民センターのクラブ、男性クッキングのカレー、ピンシャン会、自家製野菜、おにぎり、陶磁器、家電、洋服等々の店がありました。  
小さな子供の呼び込みの声も飛び交い、皆さんあちこちを見て廻られ、盛況のうちには終了しました。次回は、3月15日(土)に開催されます。



**賛助金募集結果**  
令和六年度の賛助金の募集結果は左記のような結果になりました。皆様の心温まるご協力で厚く御礼申し上げます。

個人	199,000 円
法人・団体	178,000 円
合計	377,000 円

**募集中です**  
黒崎地区社会福祉協議会では**賛助会員を募集**しています。一口千円のご寄付が、黒崎地区に居住する一人暮らし年長者の見守り活動に役立ちますので、皆様の温かいご支援を願います。

連絡先 黒崎市民センター  
電話 641-4106